

朝日新聞 DIGITAL

一斉休校、識者は体験型学習のすすめ 中韓は遠隔授業も

有料記事 新型コロナウイルス

今村優莉、神谷毅 2020年3月9日 15時00分



3月2日から始まった上海市のオンライン授業。ケーブルテレビの画面から=藤田康介さん提供



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府が全国すべての学校に休校を要請しました。突然の休校に、仕事を休まざるを得ない保護者も多いと思います。娯楽施設は閉鎖され、人混みにも行けません。子どもとどのように過ごせばよいのでしょうか。学校に行けないことで学力が低下する心配は——。子どもとの過ごし方について、保護者や指導員らでつくる民間団体「全国学童保育連絡協議会」の佐藤愛子事務局次長に聞くとともに、同じく休校措置が取られている中国や韓国の実態を調べました。

佐藤さんはまず、休校による学力への影響について「お子さんが学校に行かないということで、学力低下を心配するかもしれませんが、計算ドリルなど、すぐに成果が出るものに引っ張られがちですが、子どもにとっては、名前のない遊びやムダのように見える時間でも、学ぶことは意外と多いです」と話しました。

佐藤さんが例に挙げたのは次のような過ごし方です。一緒に家のなかの掃除をする。一緒に台所に立つ。目的地を定めず、家の周りを散歩する——。「大人が遊ばせようと思ったものが、子どもにとっては遊びになるとは限らないのと同様に、大人が『役に立つから学ばせよう』と思うほど、押しつける形になることもあります。子どもが興味を持ったことを一緒に調べてみてあげることも大切です」

また、「普段働いている保護者は、職場と家の往復になって、子どもとゆっくり過ごす時間に限りもあるでしょう。人混みには気をつける必要がありますが、この機会に親子で街探検をしてみてもいいと思いますよ」と話しました。

佐藤さんによると、特に6～12歳の子どもは、好奇心が育っており、知らないことを探求し始める時期にあるそうです。「子どもの成長は、人や社会との関わりの中で育

資料 1

一斉休校、識者は体験型学習のすすめ 中韓は遠隔授業も [新型肺炎・コロナウイルス]: 朝日新聞デジタル

まれていくことも多いです。学びは学校だけにあるわけではありません。生活に関することを一緒にしたり、子どもの話すことにじっくり耳を傾けたりし、そこから生まれる会話を楽しんでみてください。子どもたちも、そこから学んでいますよ」と話します。

日本に先駆けて休校措置をとった中国や韓国では、インターネットを駆使した遠隔授業に力を入れているようです。

上海に住む中国伝統医学医師の藤田康介さん(45)は、小学5年の長女(11)が通う現地の公立学校が、新型コロナウイルスの影響で休校になりました。今月2日に「始業」したものの、学校へは行けず、自宅でオンライン授業を受けています。インターネットに接続していれば、ケーブルテレビでも受けられるといます。

授業は午前9時に始まり、午後5時20分まで続く日もあります。あらかじめ決められた時間割に沿い、算数や国語、英語、道徳に加えて音楽や美術などの科目も行われます。授業の合間には「ラジオ体操」や「目の体操」の時間も設けられているそうです。

授業は1科目が1時間。最初の20分で上海市が指定した専門講師による講義が流れた後、残りの40分は長女が通う学校の担任の先生が、リアルタイムで子どもたちに「補講授業」を行う手の込みようです。

子どもたちは、先生の声を聞きながら、与えられた宿題をアプリを使って提出します。紙に答案を書いてスマホで写真に撮って送ってもいいそうです。

オンライン授業は、学校にとっても親にとっても初めての試みですが、藤田さんは「上海の小学校では、普段からワードやパワーポイントを使って授業をしているうえ、学校から配られる副教材にも、アプリを使って復習する機能があるので、実践しやすかったようです」と話しました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、藤田さんも、共働きの妻も仕事が休みになってしまい、ほぼ毎日、自宅で過ごしているそうです。妻は、普段から娘の勉強に付き合いたいけれど時間が足りないと感じており、「今は時間があるからゆっくりみてあげることができる」と話しているそうです。

一方で藤田さんは、積極的に家事をするようにしています。「子どもに家事をしている姿を見せると、自然とマネしてくれます。ごろんと寝転んでばかりでは、夫婦関係にもヒビが入ります」と話しました。

中国でも最近では、学校を始め、図書館や映画館などもすべて閉鎖されているそうです。藤田さんは「人混みをさけてマンションの敷地などで縄跳びをしたり、バドミントンをしたり、かけっこしたり。息抜きもしながら、子どもとの時間を楽しんでいます」と話しました。

資料1

一斉休校、識者は体験型学習のすすめ 中韓は遠隔授業も [新型肺炎・コロナウイルス]：朝日新聞デジタル

韓国でも3月から始まる予定だった新学期が23日まで延期されています。

子どもたちのなかには、携帯電話のメッセージや映像通話の機能を使った塾の講義を受けているケースもあるそうです。

ソウルに住む中学2年の女子生徒は、英語塾の講師からメッセージで問題を受け取り、回答しています。ただ「ほぼ一日中、家にいるので、友達とメッセージを交わしたり、ビデオをみたり、ゲームをしたりするため携帯電話は一時も手放せない」と話します。

学習塾側も学校の休校措置を受け、講義を続けるかを父母にアンケートで尋ねたうえで、子どもたちを受け入れているようです。その際、出入り口で体温検査を行い、講義中は子どもたちにマスク着用を求めるなど、感染症対策を徹底しているそうです。（今さら聞けない世界）（今村優莉、神谷毅）

令和2年4月7日 参議院文教科学委員会 れいわ新選組：船後靖彦
出典：朝日新聞オンライン版（2020年3月9日15時00分）